

1 学年だより

夢の宅配便

1 年学年主任
水野 喜代治

毎日、続けることの大切さ！

力と底力の違い！

毎日、続けていることは、力になります。力がついた後も継続的に努力を続けると底力となります。底力は、消えてなくなることはありません。私たちは、生涯にどれだけの底力を身につけるかで、その人の人生を大きく変えることになると思います。

先日、卒業生にバク転を披露した話を紹介しました。私は、中学校時代に器械体操部に所属して、毎日、床運動の選手として放課後練習に励んでいました。練習では、準備体操の柔軟運動から始まって、バク転を何十回とします。3年間で、どれだけの回数のバク転をしたことでしょうか。私の体にバク転をするときの感覚が染みついています。だから、昨年の卒業式に60歳を超えた私でもバク転が出来たのだと思います。現在、毎週日曜日に音楽教室に通いドラムを習っています。6月頃から教室に通い「back number」の曲をたたけるように練習しています。12月に、先生から「水野さん、頑張っていますね。だいぶドラムをたたけるようになりました。」とほめられました。ドラムをたたく力がついてきたなと自信になりました。1月は、学校も忙しくて、今まで夢中で練習していたのに、練習する時間を取ることも教室に通うことも出来ませんでした。2月6日の日曜日に久しぶりにドラム教室で授業を受けました。あれだけドラムをたたけるようになっていたのに、手と足がバラバラになって、正確にリズムを刻めなくなっていました。底力までなっていない力は、継続して努力をしないとすぐにその力は消えてしまうことを実感させられました。「水野さん、練習していないですね。今まで出来ていたことが、出来なくなっています。」と先生に注意されました。「はい、忙しくて練習できませんでした。」と私は言い訳をしました。振り返れば忙しくても、わずかな時間でも練習しようと思えば出来たと思います。私は、自分は「ドラムをたたけた。」と勘違いして、努力することを自然にやめてしまったのです。

力は、努力しなければ消えてしまいます。力がついた後も努力を継続していけば底力となります。底力は、消えることはありません。中学生の時はすぐにいろいろな力がつきます。その力を消さずに底力に発展させてください。第四回テストは学年末テストとなります。範囲も広く以前に学んだところも問われます。以前は、分かっているけど、もう一度、復習して力が消えないようにしてください。出来ていることをさらに練習すること、この繰り返しが大切です。頑張ってください。